



撓 ま ず 屈 せ ず が ん ば ろ う 釜 石 ！

両 石 地 区

発行：平成 26 年 9 月
発行元：釜石市復興推進本部

復興まちづくり協議会・地権者連絡会 ニュースレター

復興まちづくり協議会・地権者連絡会を開催しました

開催 概要
開催日：平成 26 年 8 月 31 日（日） 時 間：13：30～15：00
場 所：沿岸広域振興局四階大会議室 参加人数：52 人

両石地区における復興事業のうち、これまでの経緯、土地利用計画、事業実施スケジュール、国道 45 号整備の概要、防潮堤整備の概要について説明し、参加者の皆様と意見交換を行いました。



これまでの経緯

平成 25 年 7 月 28 日（日） 両石地区協議会

- 最新の土地利用計画 ●今後のスケジュール ●災害危険区域の設定
- 私的整理ガイドライン ●住宅再建支援制度

平成 25 年 11 月 17 日（日） 両石地区協議会

- 前回協議会のふりかえり ●最新の土地利用計画 ●住宅再建意向調査の中間集計結果

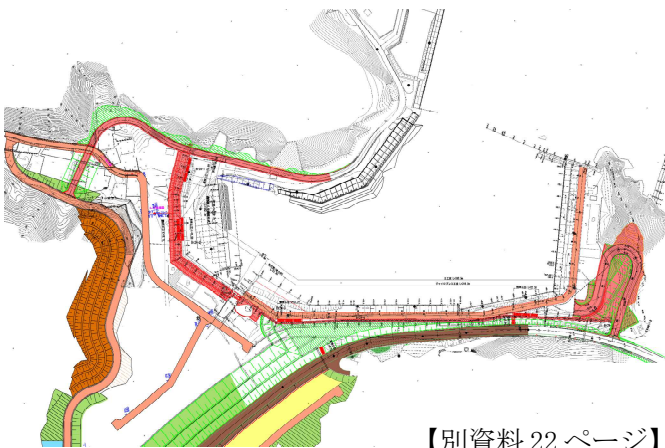
平成 25 年 12 月 15 日（日） 北ブロック安全祈願祭

平成 26 年 2 月 現地に目印（丁張※）を設置 ※設計図面に示された位置とかさ上げ後の高さを現地に表示するもの。

ご意見をふまえた
計画の見直し

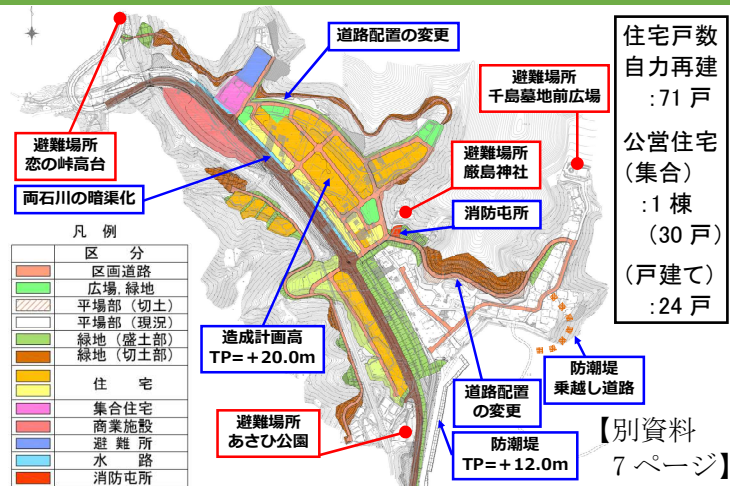
土地利用計画等

防潮堤の整備計画

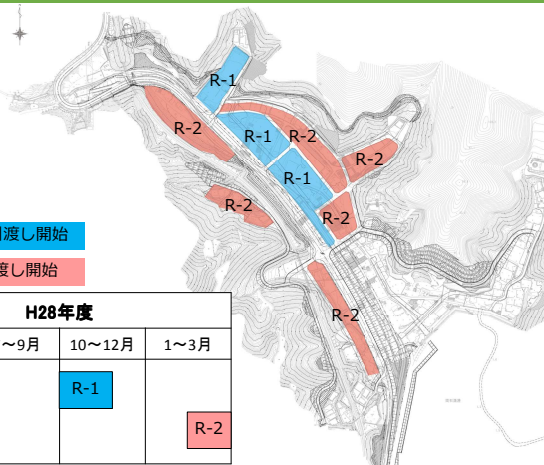


【別資料 22 ページ】

最新の土地利用計画



宅地引渡し予定



H28.10月引渡し開始

H29.3月引渡し開始

H28年度

4～6月	7～9月	10～12月	1～3月
		R-1	R-2

【別資料 14 ページ】

事業実施スケジュール

地区	項目	平成25年度				平成26年度				平成27年度				平成28年度				平成29年度			
		4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月
両石	まちづくり協議会																				
	設計・協議																				
	用地買収																				
	造成工事																				
両石	国道工事																				
	防潮堤工事																				
	自力再建住宅																				
	復興公営住宅																				

凡例：前回提示スケジュール 今回提示スケジュール

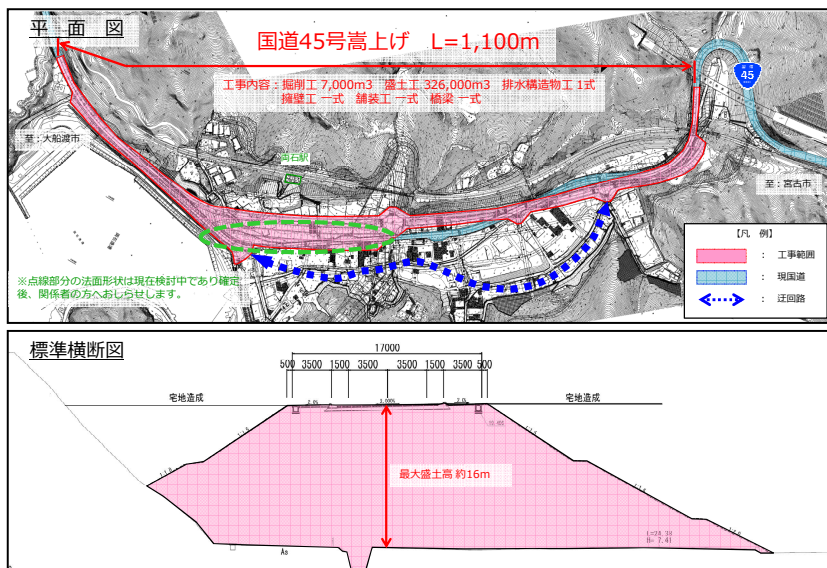
【別資料 15 ページ】

国道 45 号整備の概要について

工事に関するお願い（お知らせ）

- 国道 45 号のかさ上げにあたり、本工事に伴う工事用車両の往来がありますので、ご理解・ご協力をお願いします。
 - 施工区域内の市道は、工事の進捗状況により一時期通行できなくなる場合があります。その際は、事前に工事看板等にて周知します。
 - 国道の切り替え時期が決まりましたら事前にお知らせします。
- ※ 工事に関するお問い合わせは、別資料 20 ページをご参照下さい。

【別資料 18 ページ】



このような意見をいただきました

- 宅地整備にあたり山側に道路が整備されるが、そこに必ず側溝（排水溝）は付くのか？ 両石には 6、7 ヶ所の沢があるため、いくら宅地を高くしても、側溝が適切に整備されなければ両石は水没してしまう。山から流れてくる雨水の処理を一番に考えてほしい。

基本的には道路には側溝を設けます。ご指摘のとおり、山側の沢から流れてくる水は、整備する宅地の上側で側溝に入れる形での処理を考えています。水処理には十分配慮して整備を行います。

- 土地利用計画を実現するための事業費総額はいくらの予定なのか？ それは、当初計画から変更があったと思うが、増えたのか、減ったのか？

当初段階では概ね 40 数億円を計画していましたが、国との交付金協議資料の中で事業費概算を出したところ、約 40 億円の事業費総額になりました。しかしながら、最終的な事業費の精査はまだ終わっていません。



- 集落側から海へ人間が出入りする場所は、将来的にどこになるのか？ 漁師はたとえ 1m の津波が来ても、船や船の漁具など、自分の資産を守るために海へ行く。そのときは南側の道路を通って向かうこととなり、防潮堤には避難階段が付くということか？

今までは、陸側から水門で海側に抜けていましたが、それがなくなります。人間の出入りは、少し高くなる防潮堤の上を通る乗越道路で海に行くようになります。避難階段は、別資料 P22 の図面の防潮堤沿いに付き、南側と北側の各乗越道路に避難できるようになります。

- 現在、両石の沢には相当数の砂防ダムがあるものの、そのほとんどが埋まっており、もし大水が出てても用をなさないと思う。管理者には定期的に現地確認の上で土砂を取り除いてもらわなければならないと思う。安全を考えて砂防ダムがあるわけで、土砂をせき止める余力を持たせておき、いつでも何かある時に効果が出るようにしてほしい。

了解しました。現地を確認の上、施設管理者と協議したいと思います。

- 工期が少し遅れることに伴って仮設の集約はどうなるのか？

先日、今時点で考える仮設の集約予定を示させていただきました。随時スケジュール見直しを行う中で、仮設の集約予定も見直さねばならないと思いますので、そのときどきの進捗状況に合わせ、随時見直しを行います。

復興事業については、できる限り皆様の期待に応えられるよう進めていきたいと思っています。
1 日も早く工事を完成させたいと思いますので、ご協力をよろしくお願いいたします。



復興計画の事業進捗等については復興新聞や市のホームページでも公開しています。
あわせてご覧ください。

■協議会等に関するお問い合わせ
釜石市復興推進本部

TEL：0193-22-2111(内線 132)
FAX：0193-22-6120